

# 各平和委員会、各種「つどい」と合わせて大奮闘!

—読売新聞意見広告賛同者1300名めざして—

夏の「戦争と平和を考える特別旬間」の運動からはじまり、秋の第一弾「全市町村宣伝行動」・第二弾「10/21米軍機くるな秋の市民集会」・第3弾「9条の会交流集会」そして第4弾今年最後の「意見広告」とライオン販売。

そしてその間、各平和委員会独自の運動とかなりハードな取り組みでお疲れと思いますが、心置きなく、充実した運動の実績を残しましょう。最後のご奮闘をお願いします。

以下、取り組み状況を報告します(11/30)。

北茨城平和の会：12月2日の「憲法学習会」の取り組みと合わせて賛同者を募っています。昨年12名でしたがすでに20名確保、さらに30名めざしています。やはり新しい事務局が出来た事が力を発揮しています。

美和・緒川平和の会：12月8日の「美和・緒川9条の会」結成の準備活動と合わせて目標の30名実現にみんなで話し合っています。

東海村平和委員会：ここ2、3年50～60名と落ち込んでいますが新しい事務局態勢ができ今年は100名の実現を頑張っています。

ひたちなか平和の会：賛同者・100名の実績をもつところで昨年の70名を上回る取り組みをと会長・事務局長を中心に張り切っています。

なか平和の会：昨年の15名をすでに21名に塗り替え30名に向かっていきます。「伊達さん、大丈夫だよ」とは川又事務局長の弁。

みとみなみ平和の会：昨年は組織的に取り組み始めたかったが、今年は事務局会議で検討し、昨年の20名を30名にと神長事務局長を先頭に奮闘しています。

水戸西平和の会：12月の「望年会」の取り組みと合わせて昨年の50名を上回る取り組みを進めています。「伊達さん、取り敢えず20名分もってきたよ、まだやるからな」と小川弘二さん。

内原・友部平和の会：事務局会議で昨年の50名を

内原で10名、友部で10名増やす目標を具体的に決めたが、さらに12月1日の会議で検討していく。みんなで分担して実行していく組織運営にしました。

笠西平和の会：多くの会員が9条の会の取り組みで大きな成果をあげています。11月にも戦争体験の「つどい」を成功させました。昨年20名の賛同者も30名にどの要請にこころよく頑張ってくれています。

石岡平和の会：植田・山口ご両人を先頭に昨年の107名から120名に目標を掲げて奮闘しています。12月8日の「戦争体験を聞くつどい」とセットで取り組みを強めています。

阿見平和の会：「伊達さん、賛同申し込み書を20枚追加で送ってくれよ」数日後また「追加で送ってくれよ」水野代表理事 事狐軍奮闘。みんなと相談して阿見町をまず当たり、次に牛久市に「出張」し昨年の40名をすでに63名と大幅にすそ野を拡げてくれています。

つくば平和委員会：かつては眠れる獅子と言われていたつくば。動けば100名でも賛同してくれる地域。最後の手段、茅野徳治さんに相談。「よし、12月2日9条の会の話し合いがあるから、50枚申し込み書を送ってくれよ」と有り難い返事。新たな動きが作られればと願っている。

鹿行平和委員会・市役所平和委員会・池貝平和の会：ブロック会議で昨年の60名から90名にアップ。宣伝カーによる10月の全市町村宣伝が遅れたが11月の連休で完遂。決めたことは遅れてもやる。「ライオン販売と一緒に賛同者もやります」とは風間・佐藤両氏の決意。

取手平和委員会・ふじしる平和の会でも50名・60名の目標で昨年以上に頑張っています。

五霞平和友の会：12月2日の憲法学習会を成功させる取り組みと一緒に力量に合わせて、無理なくやっています。守谷平和の会：去る11月18日斉藤さんと財政担当の杉山さんが日頃疎遠になっている会員を訪ねました。元気な笑顔を見せ、中には上がって下さいと言ってくれたり、庭の花を見て言っていると花の説明をしてくれました。現在17名

20口です。締め切りまで更に頑張ります。

その他、やさと・土浦・花だいにん・はばたき・つくばみらい・荻崎・竜ヶ崎・古河・日立・おおみや・百里などの各平和委員会、また、下妻市職・筑西市職・常総市職・境町職・JMIU・全国一般・茨城民医連などのみなさんにご協力を頂いています。

以上

## 美和・緒川9条の会結成のご案内

子どもや孫のためにも9条を輝かせ、憲法を守るといふ一点で手をつなぎ、改憲の企てを阻止しましょう。まず一人一人が出来ることから始めましょう。つきましては下記のように結成の集会を開きます。ご多用のところですが是非ご出席下さるようご案内申し上げます。

記

1. 日時 2007年12月8日午後1時30分より

2. 場所 ふるさとセンターつつじ荘  
(TEL56-2494)

3. 日程

(1) 講演 「9条の会 かさま」の経験から

(2) 講師 多崎貞夫氏

4. 話し合い

美和・緒川9条準備会

## 2007年度第3四半期の

### 会費を請求します。

意見広告、ライオン販売などの財政活動と県財政を支えるために日頃からのご協力に感謝します。

年末のお忙しいおり、県財政も年末にむけ、出費が何かと高む中、越年のためご協力下さい。滞納などのために関係者の一層のご協力をお願いいたします。

## 平和かわら版

平和新聞茨城版

No.488  
月3回 発行  
2007.12.5

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahnei@amber.plala.or.jp



## 新しい運動と組織形態の探究を

### 活発に討論

「9条の会」交流集会（県平和委員会主催）  
第3グループ報告（第1，第2グループは前号に掲載）

経緯や数字に関しては他の組の参加者から報告されると思  
います。ここでは、印象に残った発言の要旨を順不同で紹介  
します。

\*空間で、憲法を語る会からスタートし1年後に「九条  
の会かさま」創立集会になった。大きな集会などの計画は  
一年まえに、準備には半年以上の時間が必要。

\*費用は募金で賄い今までのイベントはすべて黒字決算。  
会議に出席したひとが世話人で定期的に会報を発行、別刷  
り「私も言いたい」で会員からの意見の発表の場を提供。

\*しんどいことはやらない、が申し合わせ。賛同署名など  
はできる人がやる。（田口氏）

\*水戸西部市民九条の会はニュースを地域に手分けして約  
3,000枚配布している。世話を焼くのが好きな人が自主的  
に参加している。定期的に赤塚駅前で宣伝しており、ピラ  
を受け取る人との顔見知りかふえている。署名活動などを  
スーパの前で行うときは許可を求めず、素早く集める。  
店長に交渉しても断られることが多い。（伊藤氏）

\*北茨城では生涯学習講座の一環として「憲法学習会 第  
1回」を開催した。運動が政治色の色眼鏡で見られがちな  
ので苦労している。参加を呼びかけるピラにもその意味で  
の工夫が必要。（藤田氏）

\*ひたち大宮、美和緒川地域で九条の会を立ち上げる準備  
会として3000を目標に賛同署名を集めたが（現在約  
2000）、しかし地域が広すぎては、会議の招集も大変。  
分割して複数の会にすることを検討中。（堀江氏）

\*鹿行地域も広い、玉里9条の会、かすみがうら9条の  
会がある。組織活動家の動きはあるが市民一般との結びつ  
きが不足している。（佐藤氏）

\*石岡で自主映画会「父と暮らせば」を計画した際は実行  
委員会に農協や寺の住職にも参加を呼びかけ、大成功をお  
さめた。「日本の青空」上映には石岡市の協賛を求めたが  
賛同を得られなかった。（山口氏）

## 戦争時の体験を聞く会・平和の集い

期日：12月8日（土）午後1時開場 1時30分開始  
会場：石岡市東地区公民館

話す人

吉野 年男 小美玉市羽鳥在住 81歳

18歳で満蒙開拓青少年義勇軍として旧満州に開拓団と  
して入植。苦難の道を歩む貴重なお話。

飯塚 静男 石岡市鹿の子在住 86歳

S18.7応招19.1中支（現中国）へ、すぐにニュー  
ギニア戦線へ配置される。生死の戦地で生き延びる貴重  
なお話。

これまでも、戦争体験を聞いて平和の尊さを学んで来ま  
した。今年は、日本が起こした侵略戦争・太平洋戦争開  
戦日に行います。あの戦争で、国内で310万人、アジ  
ア地域で2,000万人もの命が奪われました。この尊い教訓  
から、二度と戦争はしないとの決意で、日本はいかなる  
武力も持たない、戦争行為は行わないと。国民の総意で、  
平和憲法を樹立し、世界内外に公約しました。お知り合  
い方をお誘いしてお出で下さい。

## 百里基地の歴史をみんなで学ぼう!

守谷平和の会

日時：12月15日（土）13:00～16:00

場所：守谷市北公民館

講師：松原日出夫（県代表理事）

今年も後1カ月を残すだけとなりました。今年の締めく  
くりとして、また、来年の2月の百里基地で行われる  
「初午まつり」を前に表記の勉強会を計画しました。  
暮れの忙しい中ではありますが久しぶりに会員の皆さんと  
顔を合わせてはと役員で決めました。百里の話なら、小  
川町で生まれ育ち、青年ころから基地反対同盟で活躍され  
てきた“百里基地の生き証人”松原さんに講演をお願い  
しました。

## 第13回 連続憲法学習会

主催：憲法ネット（略称）

日時：2007年12月15日(土)13:00～

場所：茨城大学 共通教育棟 1階10番教室

水戸市文京2-1-1

講師：渡辺治氏一橋大学教授。政治学者・憲法学者。

憲法学者である奥平康弘に師事。治安維持法研究を専  
攻。その後、憲法研究と国家論研究を専攻。欧州福祉  
国家に対する特殊日本の企業社会・国家論を展開する。  
憲法学では憲法9条を日本の政治経済過程に位置づけ  
論じた。90年代に入ってからグローバル化・新自由  
主義化・帝国主義化をキーワードに、その日本政治へ  
のインパクトを同時代的に論じている。また、研究者  
となってからも社会運動に積極的に関わっており、現在  
では、九条の会の事務局等を務めている。

社会の動きの根底に迫る深い分析と明快な語り口。  
数々の著作で知られる気鋭の政治学者、渡辺先生のお話  
をお聞きして、みなさんで考えてみましょう。

### 演題 「現在の政局と改憲の行方

どうなる？海外派兵・大連立・解散…」

参議院の与野党逆転後、改憲勢力の次なる戦略は？

自民党の新「テロ特措法」と小沢民主党の「国連  
軍」「自衛隊恒久派兵法」はどうなる？

大連立の行方は？

格差社会」と改憲問題の関係は？

事務局便り

07年平和大会に参  
加してきました。沖  
縄の南部戦跡巡りの方  
イトの大野さん「戦  
争における個人の行為  
の残虐性と戦争の過  
酷な実態を調査追求す  
ると人間不信になる  
ところ。だからこそ、  
沖縄が世界にむけた平  
和の波の発信地として  
その役割を果たし、  
人々をつなぐ憲法9条  
の平和運動が必要なの  
だ。改めて理解を  
深めました。（加）



